

9. 河川管理の現状

9.1 管理区間

姫川においては、洪水等による災害の発生を防止し、河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持、河川環境の保全の観点から日々の河川管理を行っている。

直轄管理区間は、本川の河口から上流 11.0km である。



図 9-1 姫川直轄管理区間位置図

9.2 河川管理施設等

表 9-1 姫川直轄区間堤防整備状況（平成 19 年 3 月現在）

直轄管理 区間延長 (km)	施工令 2 条 7 号 区間延長 (km)	堤防延長 (km)				
		定規断面 堤防	暫定 ^{※1}	暫々定 ^{※2}	不必要区間	計
11.0	0.0	10.4	1.0	2.2	5.9	23.1
比率		60.5%	5.8%	12.8%	-	100.0%

※1 暫定：堤防の高さは満足しているが、幅は不足している。

※2 暫々定：堤防の高さが不足しており、かつ幅も不足している。

9.3 水防体制

(1) 河川情報の概要

姫川流域では、流域内に雨量観測所8箇所（高田河川国道事務所、松本砂防事務所）、水位観測所3箇所（高田河川国道事務所）を設置し、河川無線等により迅速に情報収集を行うとともに、これらのデータを使って河川の水位予測等を行い、水防活動に活用している。また、これらの情報を防災情報として、事務所ホームページに掲載している他、河川情報センターを通じて新潟県・糸魚川市等に提供している。

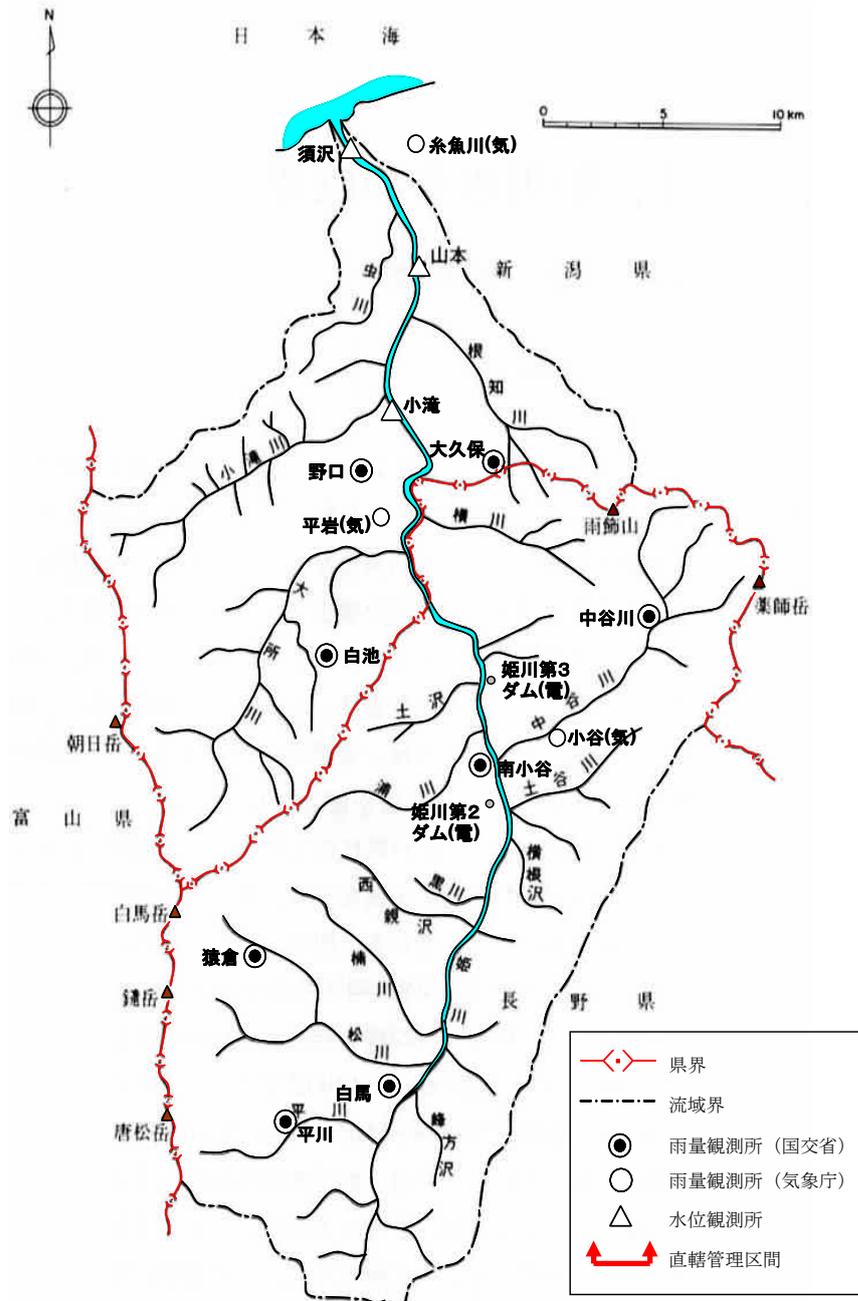


図 9-2 雨量・水位観測所配置図

(2) 河川情報の収集・伝達

河川情報の収集・伝達について、洪水時における円滑な水防活動や警戒避難活動を支援するため、水位情報・CCTV画像等について積極的な情報提供を行っている。

河川情報は、光ファイバーネットワークを利用し、関係自治体へリアルタイムでデータを配信し、いち早く地域住民に防災情報を提供することで、洪水からの被害軽減や水防意識の向上を図るものである。



図 9-3 姫川水系 CCTV・光ファイバーケーブル配置図

(3) 水防警報の概要

姫川には水防警報対象水位（流量）が山本地点に設置されている。

洪水により災害が起こる恐れがある場合には、水防警報対象水位観測所の水位をもとに、水防警報を通知し、消防団や糸魚川市の関係機関と協働して洪水水害の軽減に努めるよう、体制を組んでいる。

(4) 洪水予報河川の指定

姫川では、水防法第10条2項および第3項ならびに気象業務法第14条の2第2項の規定に基づき、平成9年度に洪水予報指定河川に指定され、新潟地方气象台と共同で洪水予報・警報の発表を行い、周辺の住民への適切な情報提供を実施している。

表 9-2 姫川水防警報対象観測所（山本地点 平成19年度）

位置	零点高 (T.P+m)	水防団 待機水位 (流量)	はん濫 注意水位 (流量)	避難 判断水位 (流量)	はん濫 危険水位 (流量)	計画 高水位* (流量)
河口より 約 7.2km	63.05	0.76m (500 m ³ /s)	1.32m (1,000 m ³ /s)	1.92m (1,413 m ³ /s)	2.28m (1,715 m ³ /s)	4.91m (5,000 m ³ /s)

※計画高水位：計画高水流量が河川改修後の河道断面（計画断面）を流下するときの水位。



平成7年7月11日洪水時における水防活動の状況

(5) 水質事故の概要

姫川の水質事故の発生件数の推移は図9-4のとおりであり、近年においては横ばいの状態が続いており、毎年、数件の発生が見られる。

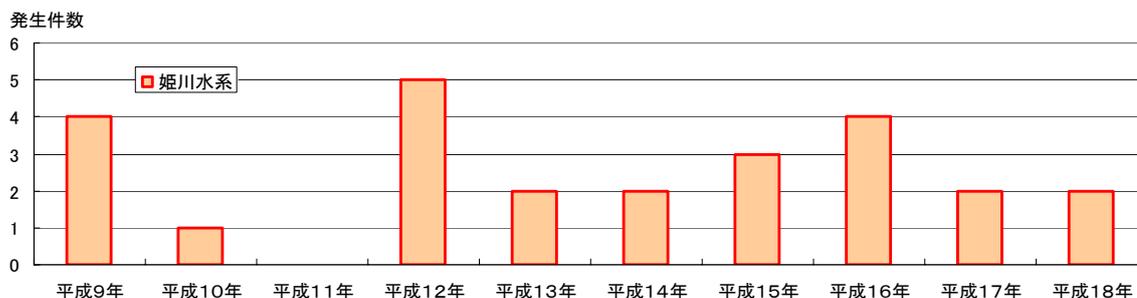


図 9-4 水質事故発生件数の経年変化

9.4 洪水危機管理への取り組み

(1) 水防連絡会との連携

姫川では、水害の防止または軽減のために、水防に関する連絡および調整することを目的として、昭和57年8月に「関川・姫川水防連絡会」が新潟県、市町村、中部電力および建設省（現国土交通省）の参加のもとに発足し、重要水防箇所等の河川巡視や水防資機材の整備、水防に係わる広報宣伝等を行っている。また、毎年出水期を迎える前に、水防技術の向上を図り、あわせて地域社会における水防の重要性の認識を高めることを目的とした水防訓練を実施している。

表 9-3 関川・姫川水防連絡会組織

組織	機関名
国土交通省	高田河川国道事務所
新潟県	上越地域振興局地域整備部、農林振興部 糸魚川地域振興局地域整備部
広域行政	上越地域消防事務組合
市町村	上越市、糸魚川市、妙高市
利水者	中部電力



H18 関川・姫川水防演習のようす

(2) 洪水危機管理への取り組み

姫川では、周辺住民の洪水に対する知識・意識を高めることを目的として、平成14年度に浸水想定区域の指定・公表を行い、地域の洪水氾濫による浸水の可能性と浸水の程度について情報提供を行っている。

一方、糸魚川市では、平成13年3月に「姫川洪水ハザードマップ」を作成しており、ソフト面の対策を実施している。



図9-5 姫川浸水想定区域図

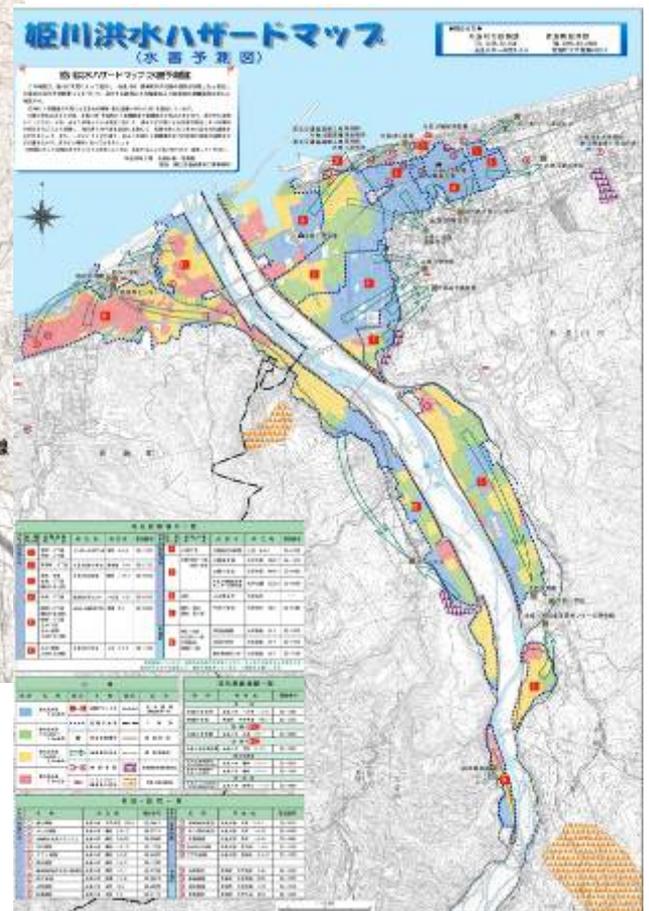


図9-6 姫川洪水ハザードマップ

出典：糸魚川市HP

9.5 地域との連携

(1) ワークショップ

姫川では、平成 12 年から市民参加のワークショップ形式で水辺空間のあり方を考える「姫川・川づくりワークショップ」を開催した。ここで出された多くの人々の意見やアイデアは現在の姫川の川づくりに反映されている。



清流通信 IICAW

清流通信のついでに！ 盛りだくさん！ 当日開催！

姫川を愛でる集い in ワークショップ 大野開催

第1回 テーマ「樹づみでやってみよう」

● 日：平成15年11月30日(日) 9:00～16:00
● ところ：IICAW本館(大野川川大野)

ワークショップの紹介

● 樹づみワークショップ
● 川づくりワークショップ
● 川づくりワークショップ

◆ つづきは裏面へ

図 9-7 清流通信（姫川・川づくりワークショップ）

(2) 姫川クリーンアップ作戦

姫川では、地域住民参加による河川管理が行われており、河川敷の清掃など美化活動を実施している。



河川敷の清掃状況

(3) 総合学習

姫川では、糸魚川市の小中高の協力や総合学習の一貫として、水生生物調査や簡易水質調査、出前講座を実施することで水質を評価するとともに、参加者自らが姫川にふれあい、現在の状況を知ることにより水環境の保全に関する関心が高まり、河川愛護の意識向上につながっている。



水生生物調査



住民との協働による水質調査



総合学習支援（出前講座）



総合学習支援（姫川源流調査）